

平成25年度 新潟大学歯学部同窓会学術セミナーのご案内

1 ビジョン設定とやる気の微妙な関係 ～医療コーチングを医院で活かす秘訣～

2 コンポジットレジン修復のポイント ～歯を知り、材料を知り、MIを実践する～

平成25年度同窓会学術企画第3弾の募集案内をさせていただきます。

今回も第2弾と同様に、それぞれの分野でご活躍されている2名の講師による講演を企画いたしました。

「ビジョン設定とやる気の微妙な関係」は本学出身の歯学博士でプラスビューカレッジ理事長の小林富貴子先生にお願いしました。本学の非常勤講師である小林先生はコーチングの講師として日本～海外を忙しく飛び回って活躍されています。よりよい医院運営を進めていきたいと考えている先生方や、それを支える衛生士の方に聞いていただきたい講演です。

「コンポジットレジン修復のポイント」は本学歯科総合診療部講師の石崎裕子先生に講師をお願いいたしました。石崎先生は、学部学生や研修歯科医に対する教育のスペシャリストでいらっしゃいます。若手の先生方だけでなく、ベテランの先生方にも有意義な講演内容です。

歯科医師、歯科衛生士の方の積極的なご参加をお願い申し上げます。

日 程 平成26年2月9日(日) 9:30～12:30(終了予定)

形 式 講義

会 場 新潟大学歯学部講堂

定 員 50名

参 加 費 4,000円(テキスト代を含む)

申し込み方法 4ページに記載

振り込み先 受講申し込み受付票に指定の口座

締め切り 平成26年1月24日(金)

問い合わせ先 同窓会学術(gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp)

※当日の申し込みはできませんのでご注意ください。

※申し込みが定員に達した場合は同窓会学術のホームページにてお知らせいたします。

※自家用車の駐車は医歯学総合病院の駐車場をご利用下さい。

※キャンセルの場合、基本的に受講料の返金はありません。ただし、代理出席は可能です。
受講者が変更になる場合には事前にご連絡ください。

主催：新潟大学歯学部同窓会

1 ビジョン設定とやる気の微妙な関係

～医療コーチングを医院で活かす秘訣～

居心地の良い空間やまとまりのあるチームには3つの要素が必要なのです。1. ビジョンがあること。2. ビジョンが伝わっていること。そして、3. ビジョンが共有されていること。

さて、ビジョンは？と聞かれて簡潔に答えられるでしょうか。そもそも、ビジョンについて真剣に考えたことがあったでしょうか。私たちはどのような人やものに魅かれるのでしょうか。やる気を引き出すために必要なこととは何でしょう？

医療に携わる先生方やスタッフの方々は、医院の雰囲気作りに気を遣い、皆が気持ち良く働けるように配慮し、患者様に心をくだきながら日々忙しく働いています。毎日毎日、体も心もくたくたになっているかもしれません。一生懸命やっている。一生懸命やってくれている。でも……もっと積極的に、もっと楽しく、もっと効果的にチームとして働ける「場」をつくる方法はないものだろうかと考えておられると思います。そのせいかコーチングやカウンセリング、ファシリテートスキル、マネジメント、マーケティングなどを学ぶ医師や医療従事者の数は年々多くなってきています。それだけ人々の感覚や価値観が多様化して「伝わらない」とか「感性のズレ」などを感じることが多くなったからでしょう。

そこで、ある一定の価値観を共有することで、年代差があってもズレが少なく、なんとなくやる気が出ている状態をつくるワークを体験していただきたいと思います。

ヒトは何か一つのモノを複数人で共有するという作業を通して仲間意識が生まれます。そのモノが物理的な物ではなく、崇高な理念またはビジョンであればそこに共感が作用して、やる気のエネルギーが湧いてくるのです。それがまとまりある自主的なチームワーク形成に欠かせないとても重要な役割を果たします。「ビジョン構築ワーク」を主軸に楽しみながら行動につながる気づきと共に、明日の医院運営に活かしていただけるような講演をさせていただきたいと思います。

2 コンポジットレジン修復のポイント ～歯を知り、材料を知り、MIを実践する～

日常臨床の中でコンポジットレジン修復は高頻度治療で、診療に携わっている先生は毎日行っている治療の1つと思います。しかし、「A先生の治療とB先生の治療では結果・予後が異なる」というテクニックセンシティブな治療という側面があります。また近年、材料の進歩により、次々と新しい接着材料、修復材料が発売され、現役からちょっと離れていた先生には少々混乱することになっているかもしれません。

また、修復は材料や充填操作に興味の対象が向いている先生が多いと思います。しかし2000年に提唱されたMinimal Intervention (MI) では、「最小の侵襲」が謳われています。う蝕のみを除去して（う蝕ではない部分は切削せずに）修復するというのですが、確実に実践している先生はどれだけおられるでしょうか。修復のポイントの要点は形成（う蝕の除去）にあると言っても過言ではないと思います。これまで研修歯科医に接してきた中で、意外と身に付いていないと私が感じている歯の構造・う蝕の構造についてビジュアルで確認します。また、「修復時にはルーティンで麻酔をする」という先生にもぜひ聞いていただきたい内容です。

本セミナーは、若手の先生向けに修復のポイントを、現役からちょっと離れていた先生には接着材料の考え方の整理をするための一助となるように構成します。少しでもお役に立てれば幸いです。

講 師：

プラスビューカレッジ	理事長	小林 富貴子
新潟大学医歯学総合病院 歯科総合診療部	講 師	石 崎 裕 子

タイムスケジュール：

9:00	受付開始	
9:30～10:50	ビジョン設定とやる気の微妙な関係	小林 富貴子
10:50～11:00	休憩	
11:00～12:30	コンポジットレジン修復のポイント	石 崎 裕 子

申し込み方法

- * セミナー申し込み方法はメール（携帯メール可）での受付のみとなります。FAXによる受付は行いません。お間違いの無いようご注意ください。
- * メールの到着順に、定員内の方には「申し込み確認票」をメールにてご連絡致します。申し込み確認票に参加費の振込先及び入金期日を記載致します。入金期日までに参加費をご入金ください。期日までに入金がない場合にはキャンセルとして扱わせていただきます。
- * 定員外となった方は、自動的にキャンセル待ちとさせていただきます。定員外の場合にも、「キャンセル待ちのお知らせ」をメールにてご連絡致します。
- * 「申し込み確認票」もしくは「キャンセル待ちのお知らせ」がメール送信1週間後にも届かない場合には、何らかの問題でメールが届かないトラブルが考えられます。再度お申し込みいただきますようお願い致します。

以下の必要事項を同窓会学術アドレス（gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp）にメールにてご連絡ください。メールのタイトルは「同窓会学術セミナー申し込み」としていただきますようお願い致します。

必要事項

氏 名：

出身大学：

何 年 卒：

住所(含郵便番号)：

電話番号：

メールアドレス：